



明けましておめでとう
じやいます。

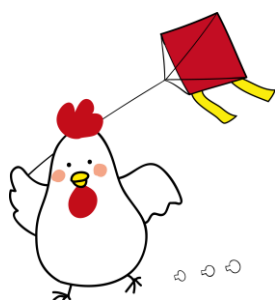
二〇一七年は、とり年
です。六〇通りある干支
の組み合わせでは「丁酉
」(ひのととり)なのだ
そうす。鳥でも鶏でも
なく「酉」と書きます。
「酉」とは「フ」のこ
とを指しているの、書
き間違えても仕方がな
いかもありません。
酉は、「取り込む」に

繋がることされ、酉のつく
年は、運氣やお客様を取
り込む縁起の良い商売
繁盛の年とも言われて
いるそうす。酉の元

は、「績しゅ」という字
で、「果実が極限まで熟
した状態を表している
ことから転じて、酉年は
「物事の頂点まで極ま
った状態」になる年だと
言われています。とはい
え、何もしないでいて、

頂点となることはあり
ません。日々のプラスの
行動が運と良い結果を
引き寄せ、素晴らしい毎
日、ひと月、一年となる
のでしよう。

最近では、見かけること
も少なくなりましたが、
本のページの中心に、まれ
に端が折れたまま断裁
されていて、折れを戻す
とそこだけ紙が飛び出
してしまうことがあり
ます。はつきり言うところ
良品なのですが、昔の人は
それを「紙の裁ち残り」と
「神の立ち残り」
の言葉をかけて、「福紙
(ふくがみ)」「恵比須紙
(えびすがみ)」と呼ん
で、めったにない縁起の
良いものだと言ってい
たそうす。その大らか
さが福を呼ぶのかも知
れませんが、大らかに、
笑顔で過ごす一年に
したいものです。



2017年のタイピックの行動指針「明朗」

2017年のタイピック全社員の
行動指針は「明朗」です。

「明朗とは、明るく朗らかな心。表
面的な明るさではなく、こだわりやと
らわれが何もない心。憂鬱・心配・怒
り・焦りを抱かず、晴れわたった大空
のように澄んだ美しい心を持ち続け
ること」とあります。

「当たり前」の反対語は、「ありが
とう」と言われるように、私たちが
日々生活する中で、体が動かせること
も、仕事ができることも、「当たり前」
ではなく、本当に奇跡の連続なのでは
ないかと思えます。

お客様から多くの支えをいただき、
お陰様で弊社は今年50期を迎えます。
お客様への感謝、日々への感謝を忘
れず、倫理法人会のモーニングセミナ
ーで唱和する「今日一日朗らかに安ら
かに喜んで進んで働きます」のよう
に、昨年の行動指針の「喜働」と合わ
せて、「明朗」で、今年も地域の皆様
に愛されるタイピックであるように
全社員一同、一生懸命頑張ります。

今年も、ごじやあつこう
お願い申し上げます。



必要とされる人へ、必要とされる会社へ

Typic 株式会社 タイピック



〒698-0023 島根県益田市常盤町7番3号
Tel. (0856) 23-2800 代 Fax. (0856) 22-5592 番
http://www.typic.jp

社長の

つぶやき



一昨年から社員の満足度調査や「いい会社百の指標」の診断を受けているが、船井総研に依頼して第二回目の社員満足度調査を行った。

この従業員満足度の主な項目として「経営理念と目標」「コミュニケーションと風土」「評価・人材育成」「労務と福利厚生」があり、この一項目に八個の質問があり、「将来性(夢)のある会社であると思うか」「実績を上げた人が報われる金銭的報酬体系があるか」「社内には自分が尊敬したり影響を受ける優れた人材がたくさんいるか」などの質問事項があり、これを社員がそれぞれ直接船井総研にメールで送信し、船井総研に集計してもらったのである。

これは、弊社の社員が会社に対してどのように思っているか聞くもので、いわば会社の健康診断ともいえる。毎年変化する組織を定期的に可視化して、社員が働きやすい職場創りを目指してはいる。

一昨年の満足度調査では、船井総研ITビジネス研究会総合平均得点六四、八点に対し、金銭的報酬業績を上げた人が報われる金銭的報酬があるや人材育成・福祉・休暇(休暇はしっかりと取得できる)などは研究会平均よりかなり高い満足度であったが、逆に経営参画(会社には経営参画の機会や制度があるか)や上下の意志疎通が低く、弊社の得点は六〇、五点で研究会平均得点と比べ満足度が低いことが分かった。

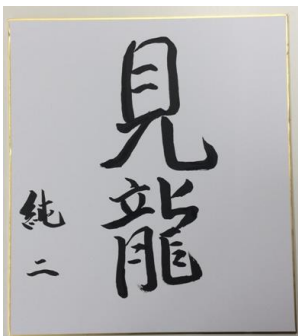
私はこのように低いとは思っておらず、何故このように低いのか、これをどのようにして満足度を引き上げようかと悩んだが、項目ごとに成果がでるようになり、社員と共に学びの機会を多くするようにした結果、第二回目では研究会平均得点六六、四点に対し弊社の満足度は六六、九点となり、研究会平均を若干上回ることが出来た。

今回の調査で前回と改善された項目は、管理者(自部署の管理者はその責任を全うし、望ましい行動をしているか)、経営参画が大幅に改善され会社に誇りを持ち、将来性がある会社だと思ってもらえるようになった。

この満足度調査を実施する前は、私が勝手な自己判断をしていたが、この調査をするようになってから、具体的な問題点を探し出してそれを改善することによって満足度が向上するようになり、ある意味で経営が楽になったような気がする。これからも百点を目指して努力を重ねていかなければならないと思っている。

話しは全く変わりますが、今年の社員行動指針は『明朗』、私の二〇一六年の抱負は「静かに将来を思い、志を高く掲げひたすら学び続けて力を蓄えよう」と『潜龍』として、倫理法人会が主催する百日実践トライアルで「一日二時間学を為す」を目標に、多くの書籍を読み学び続けてきました。

今年は、昨年深く潜って学び続けたことを実現する。潜って学び続けたい物を見えるようにしようとの思いを込めて『見龍』としました。



わが社の ほっとニュース



新年の書き初め

子供の頃に冬休みに書いていましたよね。タイピックでも、毎年恒例行事として行っています。今年はどういう年にしたいのか、どのようなことをやりたいのか、そんな抱負を色紙に漢字で書いて新年会で発表します。1文字から4文字の間で漢字ならどのような字でも構わないのですが、心が通い合ったのか、選んだ言葉が重なることもあります。

新年の始まりに抱いた希望と決意の色紙を社員の目に入るところに掲示することで、常に前向きなプラスの意識を思い出すことが出来ます。それは、より充実した仕事へと繋がっています。全社員の色紙は、次回のタイピック日より披露いたしますのでご期待ください。





特集 人を育てる

杉内 崇

人生には不変の原理が2つある。

1つは 入生は投じたものしか返ってこない「もう1つは 入生は何をキャッチするか。同じ話を聞き、同じ体験をしても、そこからキャッチするものは人により千差万別である。

この言葉を読んだ時、自分の中で合点がいくものがありました。特に2つ目にある人生は何をキャッチするか…の所で、たしかに同じ事を聞いたり体験したりしてもそこで伸びる人伸びない人がいるなと思いました。そのちがいがどこにあるかと考えさせられました。私なりの答えとしては素直かごつかのちがいのかなと思います。受け取る側の心掛け1つで人間として成長するのが現状にとどまるのか分かれてしまうのだなと思います。

私は物事をナナムから見てもう性格なので何事も素直に受け取れる様、これからは行動していきたくて思いました。

誕生日の決意

浜田教室

西田 寿喜

教室が開校して7年になるが、70代80代のシニアの方達が多く、開校当時から受講生も多数いらっしゃる。受講開始当時はパソコンに馴染むことが出来ず、中々思うように操作できなかった方も今では自分なりにパソコンを使いこなされる。教室では新しい出会いがあったり、思わす知り合いと再会したりとなかなか楽しそう。もちろん年齢による愚痴もでる。「物覚えが悪くなった。」とか「今日は雨が降るから膝が痛い。」とか。しかしまたその会話を楽しんでいる様子は羨ましくもある。

私が受講生の皆さんと同じ年齢になるまでにはたくさん誕生日を重ねなければならぬが、その頃にはこんなサークルに加入し、新たな出会いがあったりするこいなと思っ。

空想ではあるが、今の生徒さんたちが年齢を重ねることなく私だけが誕生日を重ね、みんな同じ年齢になって食事会や新年会、バス旅行などができればどんなに楽しいだろ。

「西田、どうもくワシらの気持ちがわかるようになったか。」と言われるのも悪くない。空想は現実にはならないが、誕生日を迎えそんな空想を楽しむのもなかなか良いものですね。



経理部

戎野 美津代

今年の十二支は酉で私は年女です。酉のつく年は商売繁盛に繋がると考えられているので、酉は「取り込む」に繋がるといわれ、そこから運氣もお客も取り込めると云うものです。



今年、3月にコマダ珈琲店益田あけぼの店が開店します。商売繁盛になれるよう私も精一杯務めさせていただきます。

弊社では毎年書き初めを色紙に書くのですが、今年は新しい事業、コマダ珈琲店がオープンしますので、そちらの仕事にも携わります。それとわたくし個人的ですが子供が小学校に上がりますので、それぞれ新一年生の意味を込めて「新」の漢字にしました。今まで以上に忙しくなると思いますが高い意識を持って、良い仕事を心がけるように努めます。

本年もどうぞよろしくお願ひ申し上げます。



宇治教室

中山 貴志

年齢というのはただの数字だそう、40も過ぎると、自分の年齢をまったく意識しないようになっておりましたが、この1月で44歳になるようです。



この44という数字を縁起が悪いと思ひ嫌う方もいますが、自分の中では、しあわせ(4合わせ)となる好きな数字です。

宇治教室も、開校から3年半が過ぎ、250名を超える生徒さんに親しんでいただきましたが、店舗の老朽化に伴い、この2月で移転することが決まりました。

開校から、様々な思いを抱え、そして、いろいろな方々と出会えた、この慣れ親しんだ教室を離れなければいけないのは、只々残念でなりません。惜しまれる気持ちは大きいですが、気持ちを切り替え、新しい教室では、さらに生徒の皆さんに喜んでいただけるような教室づくりを目指したいとスタッフ一同奮起しています。その再スタートとなる新教室の開校を4月4日に予定させていただきますので、よろしくお願いいたします。

なにやら幸せな年になりそうですね。予感です。



ゆっくりやさしいパソコン教室



5教室合同写真コンテスト
結果発表

毎年恒例の益田、浜田、萩、廿日市、宇治の5教室合同写真コンテストの結果発表です。

応募作品は、「写真部門」、「フォト575部門」、「パソコンで水彩画部門」、「ワードでお絵かき部門」の4部門に、それぞれ力作を応募され、139作品が集まりました。どの作品も素晴らしい、各教室の生徒さんの力作ばかりです。

各教室に、一月中は掲示しております。是非、皆さんの素晴らしい作品を見

タイピック賞

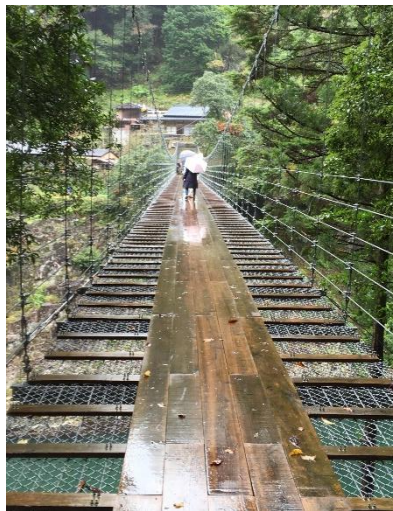
受賞おめでとうございます！

写真部門



「父子」
宇治教室 青木京子さん

フォト575部門



「吊り橋 ～山彦橋～」
宇治教室 出口裕子さん

ワードでお絵かき部門



「あんたがたどこさ」
浜田教室 杉原百合江さん

水彩画部門



「少女と犬」
廿日市教室 野村隆治さん

パソコンがご縁で仲良くなった仲間がパソコン以外の楽しみを共有することもあり、「教室に行けば何かある!」と思って頂ける楽しいイベントを、今年も私たちスタッフ一同で企画し、皆さんと一緒にますます楽しい教室にしていきたいと思います。

パソコン教室に行けば、日常の生活ではできない体験をすることができ、これからの人生の楽しみが増えること間違いありません。

ぜひ一度教室に足を運んでみてください。皆様のご入会をお待ちしております。



同じことを100回聞かれても笑顔でお答えします